社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和06年01月30日

計画の名称	横手市における災害に備えた下水道施設の構築（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和０６年度　～　令和０７年度　(2年間)									重点配分対象の該当	○		
交付対象	横手市												
計画の目標	市街地等における浸水被害の軽減・防止を図るため雨水幹線等の整備をすすめるための基礎となる浸水想定区域図を作成し、市民の安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を形成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	26	A	26	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H6当初	H6末	H7末
1	横手市雨水出水浸水想定区域図作成			
	浸水想定区域図作成面積率 浸水想定区域図作成済面積（ha）／区域図を作成すべき面積（ha）	0%	55%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	横手市	直接	横手市	－	－	横手市における災害に備えた下水道施設の構築	横手市雨水出水浸水想定区域図作成	横手市	■	■				26		－
											小計						26		
											合計						26		

案件番号：

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R06	R07			
配分額（a）	8	5			
計画別流用増△減額（b）	0	0			
交付額（c=a+b）	8	5			
前年度からの繰越額（d）	0	0			
支払済額（e）	8	5			
翌年度繰越額（f）	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額（h = c+d-e-f）	0	0			
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

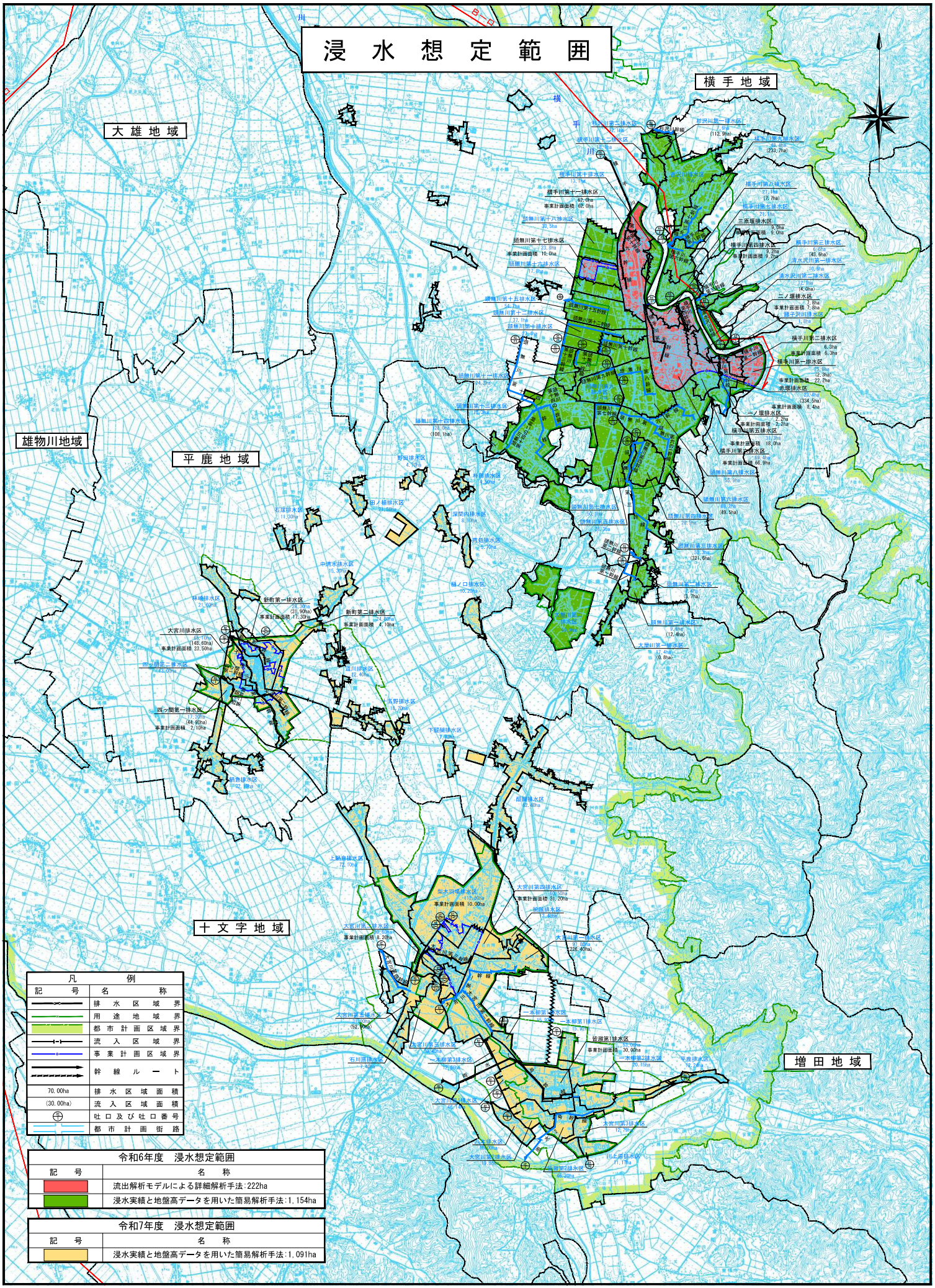
案件番号：

事前評価チェックシート

計画の名称： 横手市における災害に備えた下水道施設の構築（防災・安全）（重点計画）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 ①上位計画との整合性　１）計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I.　目標の妥当性 ①上位計画との整合性　２）地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等　１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等　２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等　３）指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ②目標と事業内容の整合性等　４）目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II.　計画の効果・効率性 ③事業の効果　１）十分な事業効果が確認されている。	○
III.　計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境　１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III.　計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境　２）事業実施のための環境整備が図られている。	○
III.　計画の実現可能性 ④円滑な事業執行の環境　３）関連する機関との調整が図られている。	○

案件番号：


浸　水　想　定　範　囲
横　手　地　域
大　雄　地　域
雄物川地域
平　鹿　地　域
十　文　字　地　域
増　田　地　域
凡　例
記　号
名　称
排　水　区　域　界
用　途　地　域　界
都　市　計　画　区　域　界
流　入　区　域　界
事　業　計　画　区　域　界
幹　線　ル　ー　ト
70.00ha
排　水　区　域　面　積
(30.00ha)
流　入　区　域　面　積
吐　口　及　び　吐　口　番　号
都　市　計　画　街　路
令和6年度　浸水想定範囲
記　号
名　称
流出解析モデルによる詳細解析手法：222ha
浸水実績と地盤高データを用いた簡易解析手法：1，154ha
令和7年度　浸水想定範囲
記　号
名　称
浸水実績と地盤高データを用いた簡易解析手法：1，091ha